

Word の新規文書が「互換モード」で起動するのを直す

文書を作成するために使用されたバージョンよりも新しい Word のバージョンを使っている場合、通常はタイトルバーに「互換モード」と表示されます。

「互換モード」で立ち上がると、タイトル部分が下記ようになります。(Word 2016 の例)



「互換モード」では、以前のバージョンの Word を使用しているユーザーが、新バージョンでも引き続き以前の文書を編集できるように、Word の新機能や拡張機能が一時的に使用できなくなります。「互換モード」では、以前の文書のレイアウトも保持されます。

しかし、ほかの古いバージョンで利用する予定もないのに、新規文書の作成で「互換モード」になってしまうのは困ります。

そこで、Word の新規文書が互換モードで立ち上がらないように直す方法を調べてみました。

どうすれば「互換モード」で立ち上がらないようにできるのでしょうか？

結論から言うと、「Word のテンプレートを削除する」と、「互換モード」ではなく通常モードで立ち上がるようになります。

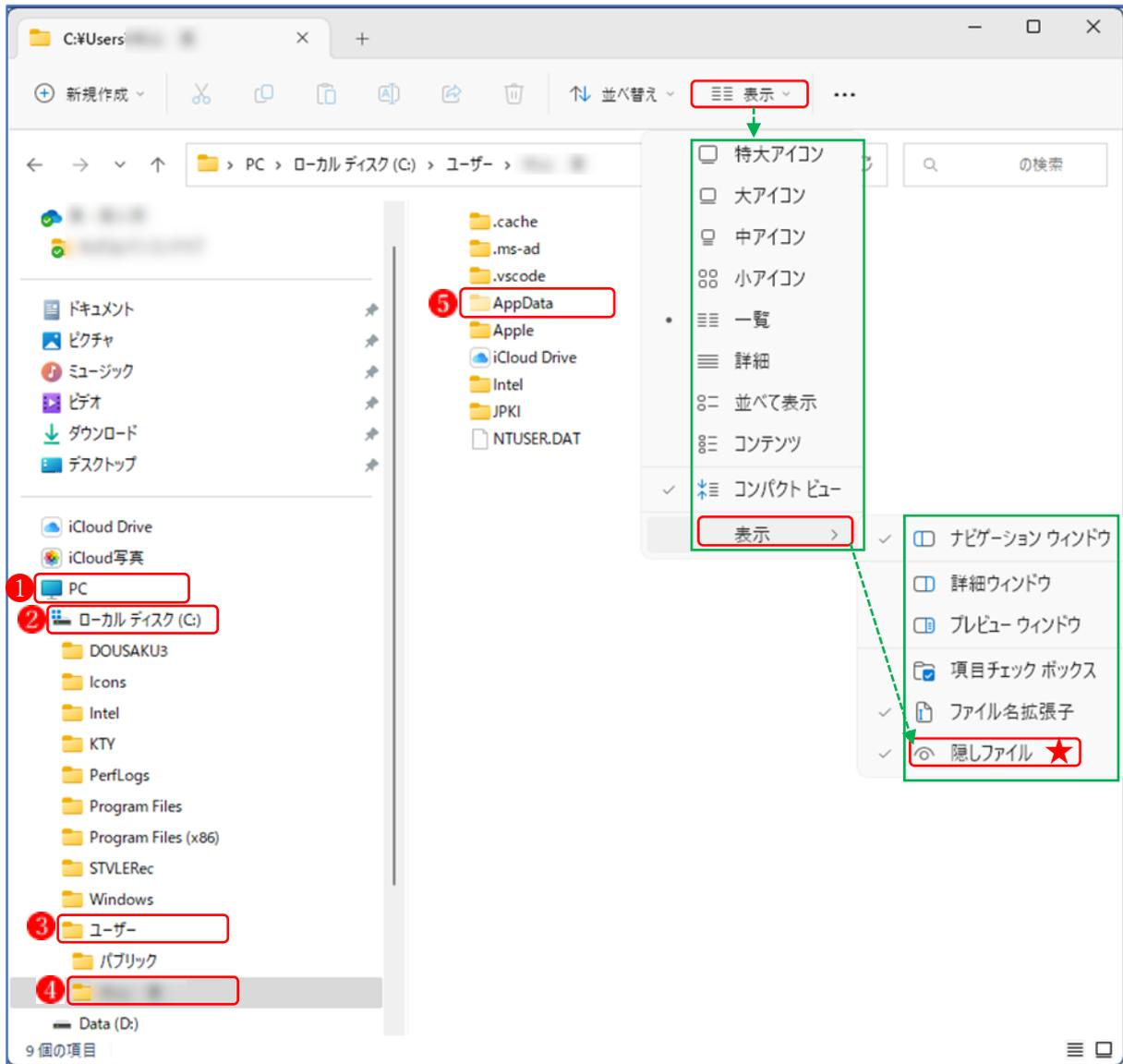
(1) 「Wordのテンプレートを削除する方法」を順を追って説明します。

Wordのテンプレートは、次の場所に格納されています。

「ユーザー名」のところには、自分が使っているアカウント名が入ります。

C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\Microsoft\Templates

まず「エクスプローラー」を開きます。



① 「PC」①の > をクリックし、下位のフォルダを表示します。

② 続いて「ローカルディスク(C)」②の > をクリックし、下位のフォルダを表示します。

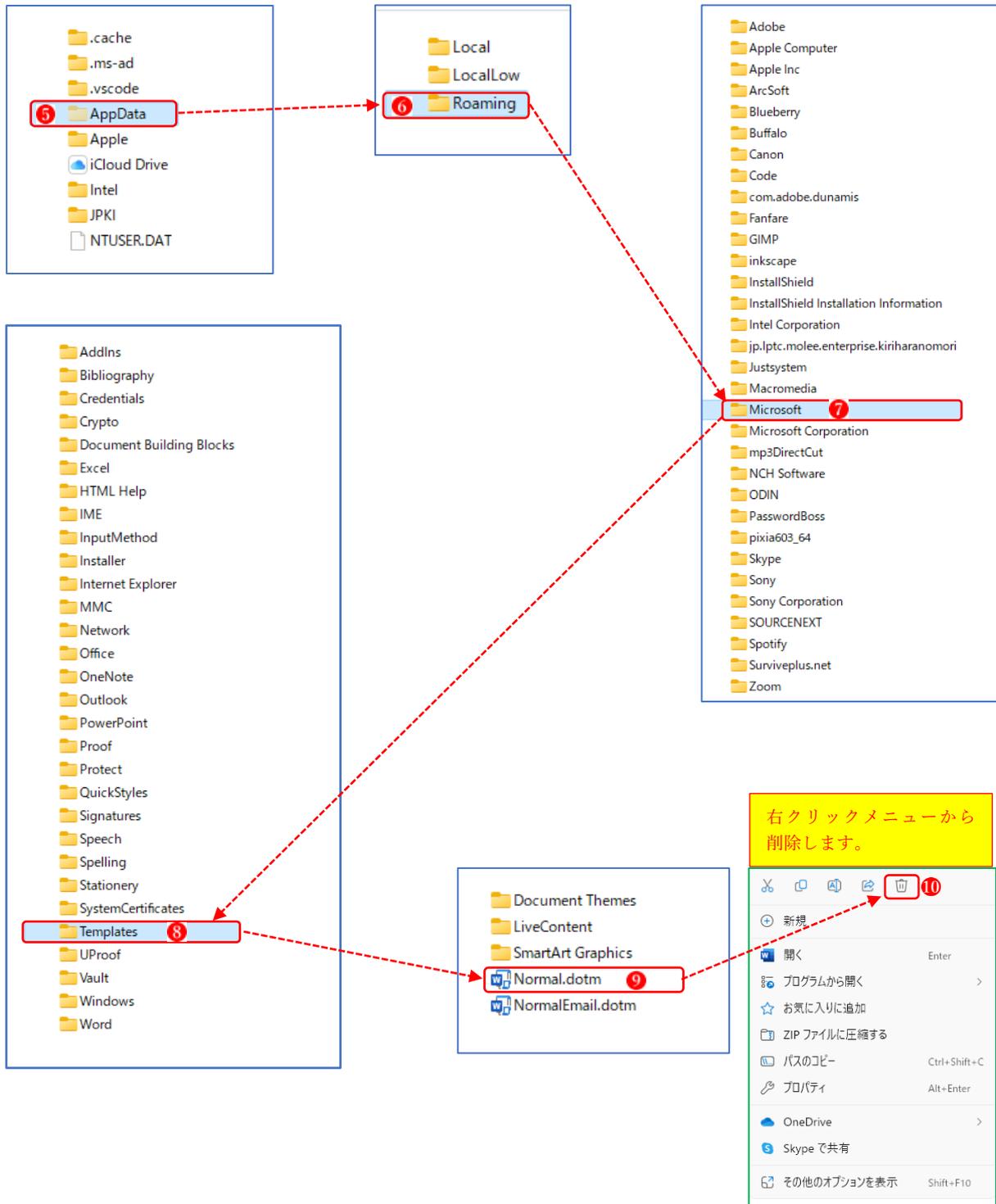
③ 続いて「ユーザー」③の > をクリックし、下位のフォルダを表示します。

④ 続いて「アカウント名」④をクリックします。

⑤ 「AppData」⑤というフォルダが現れます。

★ここで、「AppData」のフォルダが表示されないときは、上図右側の緑の矢印に従って、「表示」タブ→「表示」→と進んで「隠しファイル」★をクリックします。

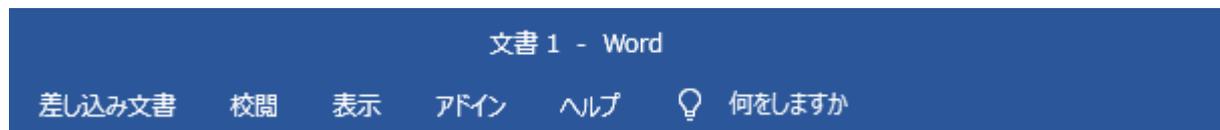
- ⑥ 「AppData」^⑤をクリックします。
- ⑦ 続いて「Roaming」^⑥をクリックします。
- ⑧ 続いて「Microsoft」^⑦をクリックします。
- ⑨ 続いて「Template」 をクリックします。
- ⑩ 「Normal.dotm」^⑨を右クリックメニューから削除^⑩します。



★これで作業は終了なので、エクスプローラーは閉じて大丈夫です。

(2) 結果とまとめ

- ① あらためて Word を立ち上げてみると、今度は「互換モード」の表示は消えて、「文書 1」だけの表示になりました。



- ② ここで、「テンプレートの削除をして Word も通常モードで立ち上がったけれども、テンプレートを削除したままで大丈夫なの？」という疑問が湧きますが、実は大丈夫なのです。開いている新規文書を閉じた後に、もう一度立ち上げてみて、先ほど削除したテンプレートの場所を開いてみると、何と、以前と同じ名前（「Normal.dotm」）のテンプレートファイルが再生されているのです。中身は見えませんが、恐らく通常の文書が立ち上がるテンプレートに代わっているものと思われます。
- ③ この作業は、通常はユーザーに見えないようにしている「隠しフォルダ」や「隠しファイル」を扱うので、もし、間違っって別のフォルダやファイルを削除すると、パソコンが起動しなくなったり、思わぬトラブルが発生したりする可能性があります。削除するファイルを間違えないように十分な注意を払って行ってください。